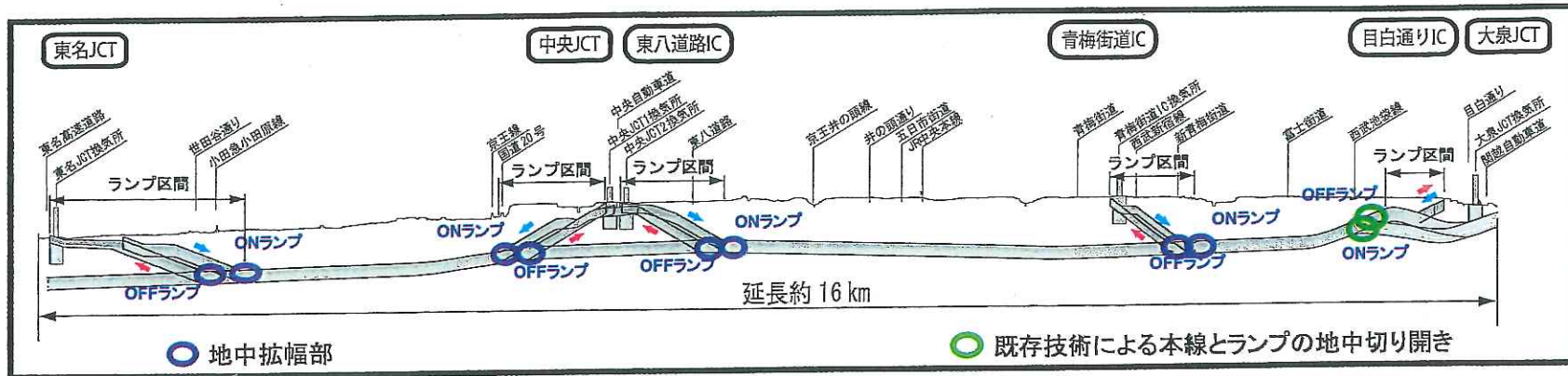
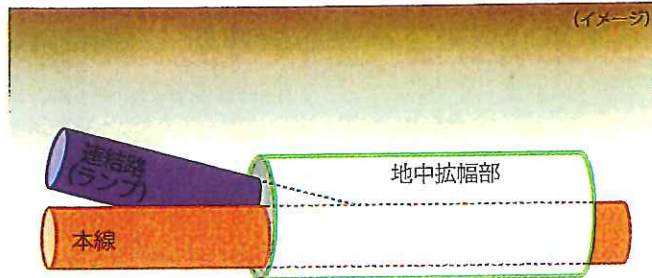


地中拡幅部の工事

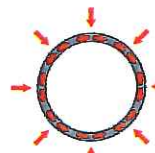
地中拡幅部とは、本線シールドトンネルと連結路（ランプ）シールドトンネルを非開削施工で繋ぐ部分になります。東京外かく環状道路（関越～東名）のJCT・IC部においては、地中でシールドトンネルを非開削によって切り拡げる工事としては世界でも類を見ない規模となり、大深度の高圧力の中、技術的困難さを伴う工事となります。



地中拡幅部拡大イメージ



形状

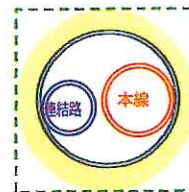


※荷重の伝わり方(イメージ)

- ・ 工事中の各段階において荷重に対して十分な耐力を確保
- ・ コンクリート構造におけるひび割れの発生を抑制
- ・ 損傷の原因となる局所的な応力の集中を回避

地中拡幅部は円形形状を基本とします。

断面イメージ



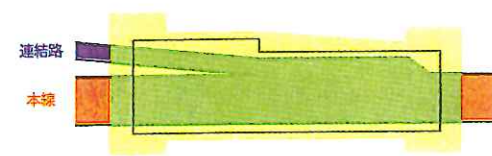
黄色範囲は止水領域

止水領域

- ・ 施工中及び完成後の漏水を抑制するために高い止水性能を確保
- ・ 特に地中拡幅両端のシールドトンネルとの接続となる箇所については、より確実に漏水を抑制

地中拡幅部は十分な止水領域を確保します。

止水領域イメージ



黄色範囲は止水領域